



株式会社 ノジマ

〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町6-90 HS大江橋ビル  
TEL.050-3116-1212(代) FAX.050-3116-1250  
「投資家のみなさま」専用メールアドレス info@nojima.co.jp

<http://www.nojima.co.jp>

い〜でじ!!ホームページURL

- い〜でじ!!本店 : <http://www.enet-japan.com/>
- い〜でじ!!楽天市場店 : <http://www.rakuten.co.jp/edigi/>
- い〜でじ!!楽天ゲーム館 : <http://www.rakuten.co.jp/edigi-game/>
- い〜でじ!!楽天シネマ : <http://www.rakuten.ne.jp/gold/cinema/>
- い〜でじ!!Yahoo店 : <http://store.yahoo.co.jp/digicon/>
- い〜でじ!!映画館 : <http://store.yahoo.co.jp/digiconeiga/>
- い〜でじ!!ライブドア店 : <http://tenant.depart.livedoor.com/t/edigi-ld/>
- い〜でじ!!ムービー : <http://tenant.depart.livedoor.com/t/edigi-movie/>
- 株式会社テレマックス : <http://www.telmax.co.jp>



投資家のみなさまへ

第44期 中間報告書

平成17年4月1日 ▶ 平成17年9月30日



## ■ 全員経営理念 ～お客様にさらに信頼されるノジマへ～

社会に貢献する経営   オープンで公正な経営   独創的で革新的な経営   人間愛がある経営   向上心がある経営

## ■ ごあいさつ

投資家の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配、ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成17年9月30日をもって、当社第44期中間期の営業を終了いたしましたのでここにご報告申し上げます。

わが国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加等、明るい兆しは見られたものの、原油価格の高騰や税負担増などの先行き不安感のため、個人の消費マインドは依然として予断を許さない状況が続きました。

このような状況の下、当社では前期2月から当期9月にかけてスクラップ&ビルドを推進し、不採算店や新店と商圏が重なる4店舗を閉鎖し、その一方で、新たに4店舗開店いたしました。（でんわ専門店の2店舗を除く。）また、家電部門やAV部門の強化等を目的に、6店舗を改装しリニューアルオープンいたしました。当社における販売の状況につきましては、昨年夏季にオリンピック、猛暑があり反動減が懸念されたものの、AV家電等のデジタル家電商品が比較的好調な売上の推移をいたしました。この結果、売上高は前年同期比15.5%の増収を達成することができました。収益面では、新規出店に伴う販売管理費が増加したため、経常利益は0.4%の増益にとどまりました。純利益につきましては、過年度にシステム障害の修復のため特損を計上していたために前年同期比129.3%増と大幅な増益となっております。

ソロン株式会社、株式会社テレマックスの通信関連事業会社2社の業績は、第3世代携帯電話が牽引し、好調な業績の伸びを持続しております。当中間期に買収をいたしました人材派遣会社の株式会社オー・ティー・エスにつきましては、登録人員を増加しつつあります。Eコマース専業の子会社「株式会社イーネット・ジャパン」は、主力製品である液晶テレビ、DVDレコーダー等の価格競争が予想を超えて激化したためこれら商品の価格対応に遅れを取ったほか、もうひとつの主力商品であるDVDソフトも強力な新作がなかったこと等の事情が重なり、所期の売上高を確保できませんでした。以上のことにより、グループ全体といたしましては、前年同期比14.7%増、経常利益は17.7%増と増収増益の決算となりました。

今後におきましては、課題である当中間期に伸張した販売管理費の圧縮と、利益率を高める販売戦略を実行してまいりますので引き続き投資家の皆様の変わらぬご支援とご指導をよろしくお願いたします。企業の再編成につきましては、前期末に当社と業務提携を行った(株)55ステーションが会社更生法を申請し、結果は結実しておりませんが、経営理念を共有できる企業とのM&Aや企業提携につきましては、今後とも可能性を視野に入れた経営を行ってまいります。



代表執行役社長 野島 廣司

## ■ Q&A

### Q 下期の店舗展開はどうか？

**A** 当社の店舗展開の戦略としては、無理な出店拡大をせず、機動的にスクラップ&ビルドを実践することにある「自然体出店」を方針としております。小型店もしくは業績の悪い店舗、さらには現在は黒字であっても将来性が見込めない店舗の撤退判断を迅速果敢に行い、大型店舗へのリニューアル並びに複合型ショッピングセンターへの進出を果たして行く予定です。下期は5店舗の中大型店舗の新規出店と5店舗の閉店を予定しており、トータルの店舗数は横ばいになりますが、総売場面積としては増加する見込みであります。また既存店の改装も継続し、市場ニーズにあった商品構成を含めお客様の満足度をより得られる店舗とするための改装を今期も積極的に推し進めて参ります。

### Q 下期の見通しについてお聞かせください。

**A** わが国経済は、企業収益は好調であるものの、原油価格の高騰や税および年金、医療費等社会保険費用負担増への懸念等により個人消費の本格回復には不透明感が漂い、当社を取り巻く環境は必ずしも楽観を許される状況にはありません。そうした状況におきまして、デジタル家電業界は、AV分野は地上波デジタル放送の広がり、液晶ディスプレイを中心とした薄型大型テレビの低価格化により表面的には順調な伸びを示すものと予想されますが、業界全体においては価格競争のさらなる激化は不可避であり、収益への貢献は限定的であることが危惧されます。会社の取る戦略が適切であるかどうかによって収益が大きく影響されることになるものと予想されます。こうした中で、当社は、スローガンにも掲げております「お客様の立場に立って」、常にお客様にご満足いただけるよう行動し、その結果としてお客様にご支持いただけるよう努めてまいります。店内においては、豊富な品揃えはもちろんの事、わかりやすいPOPやプライスを活用し、お客様の立場に立って便利でお買い求めいただきやすい売り場を作って参ります。また、専門知識を有する商品アドバイザーが、真心を込めたサービスと接客で、お客様をお迎えできるようにして参ります。

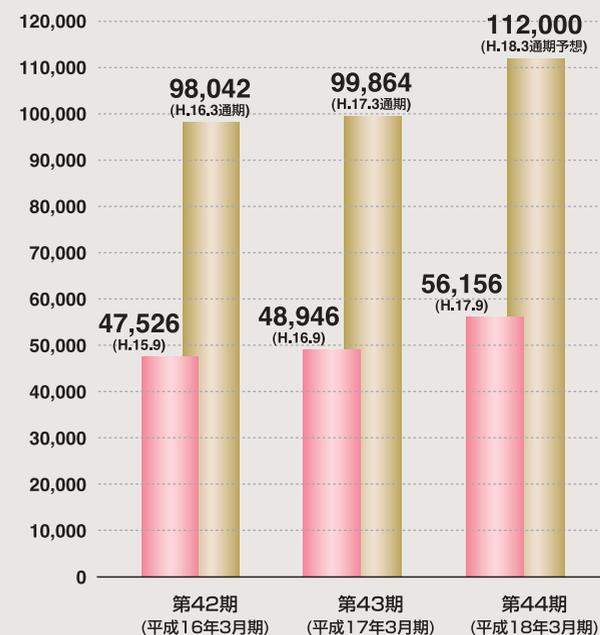
# 財務ハイライト (平成17年9月中間期)

## 中間連結

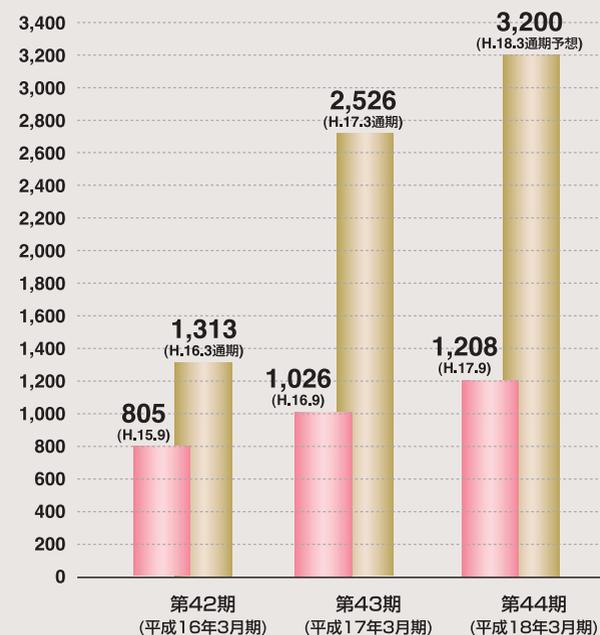
(単位:百万円、単位未満切り捨て)

■ 売上高 / **561億5,600万円** ■ 経常利益 / **12億800万円** ■ 純利益 / **5億3,600万円**

売上高の推移 (単位:百万円)



経常利益の推移 (単位:百万円)



連結	第42期 平成15年9月(平成16年3月通期)	第43期 平成16年9月(平成17年3月通期)	第44期 平成17年9月(平成18年3月通期予想)
売上高	47,526 (98,042)	48,946 (99,864)	56,156 (112,000)
経常利益	805 (1,313)	1,026 (2,526)	1,208 (3,200)
純利益	365 (500)	451 (1,019)	536 (1,460)
1株当たり純利益(円)*	26.76 (36.49)	32.06 (72.45)	38.03 (103.47)
総資産	32,645 (32,481)	30,128 (34,778)	33,889 (N.A.)
純資産	6,612 (6,748)	7,088 (7,519)	7,989 (N.A.)

\*平成16年8月20日付をもって、普通株式1株を2株に分割しているため、42期の1株当たり純利益を同条件に変更しております。

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

## 中間単体

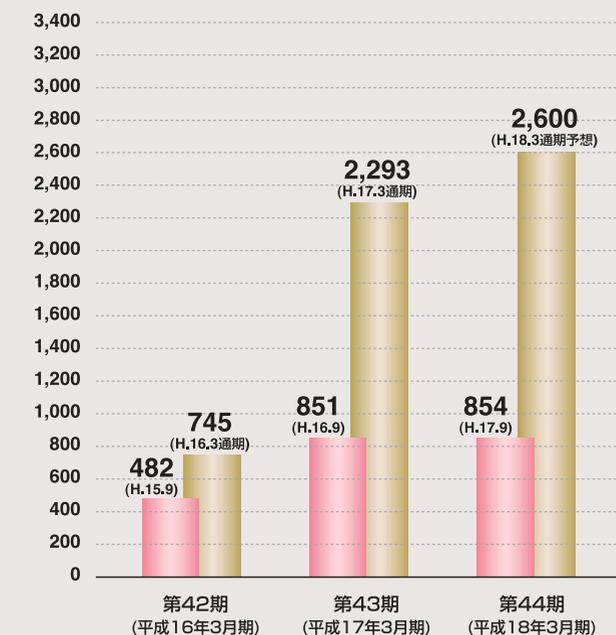
(単位:百万円、単位未満切り捨て)

■ 売上高 / **458億** ■ 経常利益 / **8億5,400万円** ■ 純利益 / **4億3,100万円**

売上高の推移 (単位:百万円)



経常利益の推移 (単位:百万円)



単体	第42期 平成15年9月(平成16年3月通期)	第43期 平成16年9月(平成17年3月通期)	第44期 平成17年9月(平成18年3月通期予想)
売上高	39,581 (81,167)	39,647 (85,179)	45,800 (95,000)
経常利益	482 (745)	851 (2,293)	854 (2,600)
純利益	207 (249)	188 (857)	431 (1,100)
1株当たり純利益(円)*	15.24 (18.22)	13.39 (60.95)	30.57 (77.96)
総資産	29,655 (29,337)	27,781 (30,772)	30,515 (N.A.)
純資産	6,397 (6,439)	6,512 (7,044)	7,409 (N.A.)

\*平成16年8月20日付をもって、普通株式1株を2株に分割しているため、42期の1株当たり純利益を同条件に変更しております。

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

## ■ 中間決算の概況 (平成17年9月30日現在)

### 連 結

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

貸借対照表(中間) 平成17年9月30日現在、前期は平成16年9月30日現在。

	第43期 (中間)	第44期 (中間)		第43期 (中間)	第44期 (中間)
現金及び預金	3,801	3,482	支払手形及び買掛金	6,866	8,486
受取手形及び売掛金	3,390	4,836	短期借入金	730	350
たな卸資産	8,571	10,151	1年以内返済予定長期借入金	2,074	2,655
その他	1,171	1,703	1年以内償還予定社債	100	1,120
貸倒引当金	▲ 9	▲ 489	未払金	1,836	2,211
流動資産合計	16,924	19,684	未払法人税等	287	491
建物及び構築物	3,497	3,630	その他	789	705
土地	1,644	1,644	流動負債合計	12,683	16,019
その他	905	1,037	社債	1,600	570
有形固定資産合計	6,047	6,312	長期借入金	6,449	6,635
無形固定資産合計	266	717	退職給付引当金	757	726
差入敷金及び保証金	4,809	4,893	その他	1,279	1,328
その他	2,131	2,307	固定負債合計	10,086	9,260
貸倒引当金	▲ 25	▲ 25	負債合計	22,770	25,280
投資その他の資産合計	6,890	7,175	少数株主持分	269	619
固定資産合計	13,203	14,204	資本金	1,529	1,529
			資本剰余金	1,945	1,945
			利益剰余金	3,590	4,551
			その他有価証券評価差額金	35	51
			自己株式	▲ 12	▲ 88
			資本合計	7,088	7,989
資産合計	30,128	33,889	負債・少数株主持分及び資本合計	30,128	33,889

損益計算書(中間) 平成17年4月1日から平成17年9月30日まで、  
前期は平成16年4月1日から平成16年9月30日まで。

	第43期 (中間)	第44期 (中間)
売上高	48,946	56,156
売上原価	41,306	47,309
売上総利益	7,639	8,847
販売費及び一般管理費	6,854	8,010
営業利益	785	836
営業外収益	397	485
営業外費用	156	114
経常利益	1,026	1,208
特別利益	210	101
特別損失	502	264
税金等調整前当期純利益	734	1,045
法人税、住民税及び事業税	266	446
法人税等調整額	▲ 8	28
少数株主損失(▲少数株主利益)	24	34
当期純利益(▲当期純損失)	451	536

### 単 体

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

貸借対照表(中間) 平成17年9月30日現在、前期は平成16年9月30日現在。

	第43期 (中間)	第44期 (中間)		第43期 (中間)	第44期 (中間)
現金及び預金	3,520	2,656	支払手形	37	44
受取手形	100	48	買掛金	6,114	7,243
売掛金	2,560	2,884	短期借入金	400	200
たな卸資産	7,833	9,212	1年以内返済予定長期借入金	2,024	2,595
その他	1,146	1,564	1年以内償還予定社債	100	1,100
貸倒引当金	▲ 9	▲ 0	未払金	1,692	2,004
流動資産合計	15,150	16,365	未払法人税等	209	318
建物	3,268	3,479	その他	769	630
土地	1,644	1,644	流動負債合計	11,348	14,136
その他	980	1,051	社債	1,600	500
有形固定資産合計	5,893	6,175	長期借入金	6,329	6,483
無形固定資産合計	231	170	退職給付引当金	713	663
差入敷金及び保証金	4,687	4,728	その他	1,277	1,323
その他	1,817	3,076	固定負債合計	9,920	8,970
投資その他の資産合計	6,505	7,804	負債合計	21,268	23,106
固定資産合計	12,630	14,150	資本金	1,529	1,529
			資本剰余金	1,945	1,945
			資本準備金	1,945	1,945
			利益剰余金	3,014	3,971
			利益準備金	80	80
			任意積立金	97	97
			中間未処分利益	2,837	3,794
			その他有価証券評価差額金	35	51
			自己株式	▲ 12	▲ 88
			資本合計	6,512	7,409
資産合計	27,781	30,515	負債・資本合計	27,781	30,515

損益計算書(中間) 平成17年4月1日から平成17年9月30日まで、  
前期は平成16年4月1日から平成16年9月30日まで。

	第43期 (中間)	第44期 (中間)
売上高	39,647	45,800
売上原価	33,411	38,555
売上総利益	6,236	7,244
販売費及び一般管理費	5,657	6,724
営業利益	578	519
営業外収益	390	440
営業外費用	118	105
経常利益	851	854
特別利益	1	90
特別損失	496	208
税引前当期純利益	355	736
法人税、住民税及び事業税	150	256
法人税等調整額	16	49
当期純利益	188	431
前期繰越利益	2,648	3,364
自己株式処分差損	—	▲ 1
中間(当期)未処分利益	2,837	3,794

## ■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

平成17年4月1日から平成17年9月30日まで。  
前期は平成16年4月1日から平成16年9月30日まで。

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

区分	期別	第43期 (中間)	第44期 (中間)
税金等調整前中間(当期)純利益		734	1,076
減価償却費		347	413
減損損失		—	37
退職給付引当金の増加額		28	10
支払利息		115	98
投資有価証券売却益		▲1	▲43
有形固定資産除売却損		59	187
投資有価証券評価損		35	—
投資有価証券評価益		—	▲46
保証金等解約損		27	7
売上債権の減少額		265	657
たな卸資産の減少(▲増加)額		363	▲694
仕入債務の増加(▲減少)額		▲186	▲1,292
持分変動益		▲209	—
その他		46	▲176
<b>小計</b>		<b>1,627</b>	<b>234</b>
利息及び配当金の受取額		13	15
利息の支払額		▲116	▲112
法人税等の支払額		▲675	▲609
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>849</b>	<b>▲471</b>

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

区分	期別	第43期 (中間)	第44期 (中間)
投資有価証券の取得による支出		—	▲2
投資有価証券売却による収入		1	50
子会社株式の取得による支出		—	▲59
連結範囲変更を伴う子会社株式取得による支出		—	▲58
有形固定資産の取得による支出		▲393	▲583
有形固定資産の売却による収入		47	—
無形固定資産の取得による支出		▲107	▲80
差入敷金及び保証金の預入による支出		▲149	89
差入敷金及び保証金の償還による収入		160	125
その他		132	▲128
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>309</b>	<b>▲647</b>

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

区分	期別	第43期 (中間)	第44期 (中間)
短期借入金純増(▲純減)額		▲365	▲341
長期借入による収入		1,000	2,000
長期借入金の返済による支出		▲1,126	▲1,254
自己株式の取得による支出		—	▲9
社債の償還による支出		▲50	▲60
少数株主からの払込による収入		596	—
配当金の支払額		▲104	▲70
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>▲49</b>	<b>263</b>

現金及び現金同等物の増(▲減)額	491	▲854
現金及び現金同等物期首残高	2,665	3,153
連結除外による現金及び現金同等物の減少額	▲538	—
現金及び現金同等物中間期末残高	2,618	2,298



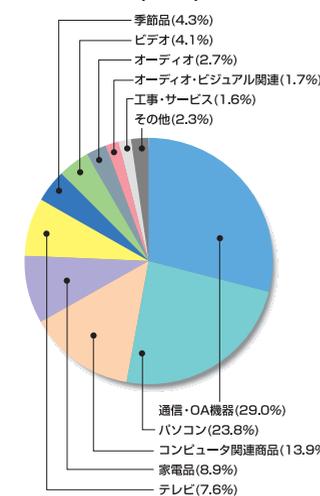
## ■ 品目別売上高

(平成17年9月中間期)

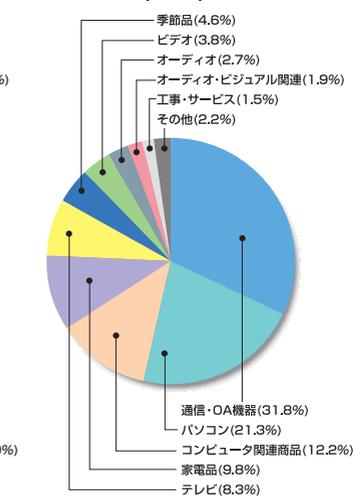
区分	期別	前中間 連結会計期間 (平成16年4月1日 平成16年9月30日)	当中間 連結会計期間 (平成17年4月1日 平成17年9月30日)
通信・OA機器		14,182	17,844
パソコン		11,661	11,937
コンピュータ関連商品		6,795	6,829
家電品		4,361	5,495
テレビ		3,737	4,659
季節品		2,092	2,565
ビデオ		2,027	2,135
オーディオ		1,334	1,529
オーディオ・ビジュアル関連商品		833	1,051
工事・サービス		776	869
その他		1,145	1,241
<b>合計</b>		<b>48,946</b>	<b>56,156</b>

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

### ■ 第43期(中間)



### ■ 第44期(中間)



## ■ 株式の概況

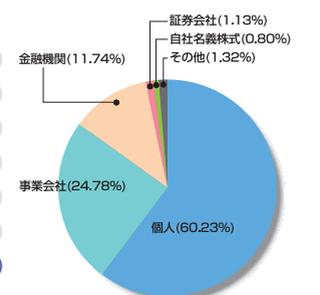
(平成17年9月30日現在)

### ■ 株式分布状況

- 会社が発行する株式の総数 ..... 56,000,000 株
- 発行済株式の総数 ..... 14,112,200 株
- 1単元の株式数 ..... 100 株
- 株主数 ..... 3,871 名

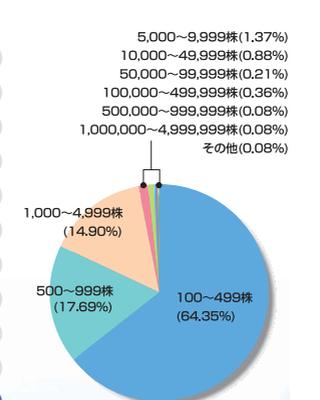
### ■ 株式の所有者別分布

個人	8,499,200 株	60.23 %
事業会社	3,497,400 株	24.78 %
金融機関	1,657,400 株	11.74 %
証券会社	159,000 株	1.13 %
自社名義株式	112,700 株	0.80 %
その他	186,500 株	1.32 %
<b>合計</b>	<b>14,112,200 株</b>	<b>100.00%</b>



### ■ 株式の所有数別分布状況

100~499株	64.35 %
500~999株	17.69 %
1,000~4,999株	14.90 %
5,000~9,999株	1.37 %
10,000~49,999株	0.88 %
50,000~99,999株	0.21 %
100,000~499,999株	0.36 %
500,000~999,999株	0.08 %
1,000,000~4,999,999株	0.08 %
その他	0.08 %
<b>合計</b>	<b>100.00%</b>



※平成16年8月20日付をもって、  
普通株式1株を2株に分割しております。



## トピックス

### 1 IT振興券復活

#### 地域密着型経営への取組み

地域自治体のデジタルIT環境の普及・発展の支援をし、近隣の皆様に「便利さ」「快適さ」を体験し理解していただくため商品に引換えることができる「IT振興券」を出店地域の市町村へ提供いたしました。今後とも毎決算期ごとに税引後利益の1%相当の振興券の提供を引き続き行い、社会に貢献する経営という会社理念を具現化させてまいります。

### 2 新しい商品にチャレンジ

#### 多様なお客様ニーズに対応

韓国の現代コーポレーションと32インチ液晶テレビの日本国内における独占輸入販売契約を締結し、99,800円というサプライジングな製品を企画し、市場に投入したことで新聞・雑誌上でも掲載をされ話題を呼びました。今回の販売の目的と致しましては、より多様なお客様のニーズに応えることを主目的にし、お客様が選択できるプライズゾーンを広め大型デジタルテレビの普及を促進することにあります。その他製品につきましても幅広いお客様のニーズに応えるため、常にお客様の立場に立って、新規商品、サービスの提供に取り組んでまいります。

### 3 本社機能の一時移転

#### 相模原本社を旗艦店として建て替え

当中間期8月度に当社は相模原にある本社機能を一時的に横浜へ移転し、従来、本部およびでんわ専門店やパソコン専門店などに分散していた相模原の社屋を、複数階建ての社屋店舗に集約する建て替えを進めております。明年度に完工を予定しており、会社の創業地に核店舗を設けより一層のお客様の信頼を獲得してまいります。また現在の横浜社屋につきましては、横浜という土地柄、取引先各社とのアクセス、採用面談にもメリットがありサテライト機能としての存続など多角的に検討してまいります。

### 4 他社とのアライアンス

#### パソコン専門店との業務提携

愛知県を中心に東海地区を営業拠点とするパソコン専門店「株式会社グッドウィル社」と業務提携をいたしました。この提携により、当社の店舗では、グッドウィル社の強みであるパソコン関連パーツの販売等が充実されることになり、またグッドウィル社の店舗では、当社の強みであるブロードバンド関連事業、携帯電話、デジタルAV販売事業が充実されます。このように商品的・地域的な補完が可能となることで、より一層お客様の立場に立った店舗に近づけるものと考えております。また、今後においては両社の強みを生かした新規事業の開発・検討を進めてまいります。

### 5 新しい地域への出店

#### 23区内豊洲への出店

トステムビバのホームセンター「スーパービバホーム」を核とする大型ショッピングセンター内に豊洲店を出店いたしました。売り場の半分をパソコンとデジタル家電にして専門店色を強め差別化を図っております。

### 6 従業員差別禁止法

#### 雇用形態にかかわらず評価体制

小売業、サービス業におきましては、アルバイト・パート労働力は正社員の補助的な労働力としてとらえられることが多いのですが、当社では雇用区分ではなく、その従業員個人の能力によってのみ正に評価しております。その方針を社内に周知徹底するために「従業員差別禁止法」という社内ルールを設けました。出る杭を評価する・できる会社となるよう環境および人事制度を整備してまいります。

### 7 学生の発想を経営に

#### 優秀プランを事業化

当社は昨年度に学生起業家向けにビジネスコンテストを実施し、店舗の運営を学生に委任するという試みを実施してまいりました。当中間期に実施いたしましたビジネスコンテストでは、最優秀のビジネスプランの事業化支援を行う段階まで歩を進め、発泡スチロール再生事業に出資いたしました。当社事業に直接的、短期的な関係はなくとも、優秀な人材の芽には社外社内問わずビジネスチャンスを用意してまいります。



## 子会社の状況

### 1 Eコマース子会社(株)イーネット・ジャパン

#### インターネットショップNo.1を目指して

インターネットショップ「い〜でじ!!」を運営する同社は、一切の店舗を有しない販売形態をとっており、インターネットのウェブサイト「い〜でじ!!」を通じて、主に一般消費者を対象にしたDVDソフト、オーディオ・ビジュアル、パソコン関連、家電、ゲームソフト等を販売しております。現在、日本のインターネット・ショッピング・モールとして最大規模の「楽天市場」および「Yahoo!ショッピング」を中心に事業をおこなっているほか、これらに自社独自のインターネットサイトを加えた販売形態により、平成17年3月期は売上高9,728百万円を計上し、当社会員登録数は約60万人となっております。



### 2 通信事業子会社ソロン(株)および(株)テレマックス

#### 更なる飛躍へ

移動通信業者の一次代理店であるソロン株式会社と駅前立地の携帯電話、PHS、通信関連専門店を運営する株式会社テレマックスの2社が通信事業の子会社となっております。携帯電話需要停滞の中激しい価格競争は依然続いておりますが、従業員の質の向上や無用な値引きを抑えたこと、さらにはバックオフィスを含むオペレーションの改善による経費の抜本的な削減、積極的な新規出店、不採算店の果敢なスクラップ推進などの諸施策により通信事業子会社は全体として増収増益決算となっております。また、将来を見据えて、同業他社に先駆けて第三世代の携帯電話の拡販、普及に注力致しました。その結果、マーケットにおけるシェアを着実に伸ばし収益を増やすことができました。





## ■ 会社の概要 (平成17年9月30日現在)

商 号	株式会社 ノジマ(店頭登録：7419)		
英 文 名	NOJIMA CORPORATION		
本店所在地	〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町6-90 HS大江橋ビル TEL：050(3116)1212 FAX：050(3116)1250 URL：http://www.nojima.co.jp		
設 立	昭和37年4月		
資 本 金	15億2,957万円		
役 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 取締役兼代表執行役社長 / 野島 廣司</li> <li>● 取締役兼代表執行役 / 三枝 達実</li> <li>● 取締役兼執行役 / 中塚 康二</li> <li>● 取締役兼執行役 / 庄司 友彦</li> <li>● 取締役兼執行役 / 米津 正義</li> <li>● 取締役兼執行役 / 池戸 亨</li> <li>● 取締役兼執行役 / 桜井 威</li> <li>● 取締役兼執行役 / 仙波 昂</li> <li>● 取締役 / 小林 稔忠 (社外)</li> <li>● 取締役 / 戸谷 雅美 (社外)</li> <li>● 取締役 / 北村 一夫 (社外)</li> <li>● 取締役 / 梅津 武 (社外)</li> <li>● 取締役 / 石井 九三幸 (社外)</li> <li>● 取締役 / 石井 九三幸 (社外)</li> <li>● 取締役 / 佐藤 莊二</li> <li>● 取締役 / 伊藤 良司</li> <li>● 取締役 / 佐藤 丈三</li> <li>● 取締役 / 湯盛 元</li> </ul>		
社 員 数	544名(平成17年9月30日現在) 平均年齢/31.5歳		
業 務 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パソコン、プリンター等のIT・情報関連</li> <li>● 携帯電話、PHS、FAX等の通信関連</li> <li>● TV、ビデオ、ムービー等のAV関連</li> <li>● ゲーム機器の家庭用ゲーム関連</li> <li>● エアコン、冷蔵庫、電子レンジ等の家庭用電気製品の販売</li> </ul> <p>※ 店舗名称は、「ノジマ」「コムドック」「でんわ館」と専門性を活かした独自の業態で展開</p> <p style="text-align: right;">各種機器及びソフトの販売</p>		
連結子会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>● (株)イーネット・ジャパン / インターネットショップ「い〜でじ!!」運営</li> <li>● ソロン(株) / 通信機器卸売</li> <li>● (株)テレマックス / 駅前立地型携帯電話・PHS等通信機器専門店</li> <li>● (株)オー.ティ.エス / 人材派遣業</li> </ul>		
主要取引先	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ソニーマーケティング</li> <li>● NECパーソナルプロダクツ</li> <li>● シャープエレクトロニクスマーケティング</li> <li>● 三菱電機ライフネットワーク</li> <li>● キヤノン販売</li> <li>● ボーダフォン</li> <li>● 松下コンシューマエレクトロニクス</li> <li>● 東芝コンシューママーケティング</li> <li>● 富士通パーソナルズ</li> <li>● エプソン販売キヤノン販売</li> <li>● NTTドコモ</li> <li>● au</li> </ul> <p style="text-align: right;">ほか</p>		
取 引 銀 行	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東京三菱銀行 / 相模原支店</li> <li>● みずほ銀行 / 町田支店</li> <li>● 横浜銀行 / 相模原駅前支店</li> <li>● UFJ銀行 / 新宿新都心支店</li> </ul> <p style="text-align: right;">ほか</p>		

## ■ 営業店舗 (平成17年11月30日現在)

神奈川県	東京都	山梨県
相模原市 ● 古淵本店 042-767-5561 ● 相模原店 042-753-1516	国分寺市 ● マルフファミリ 一園分寺店(7F) 042-326-6511 八王子市 ● 八王子南店 0426-64-1214	甲府市 ● NEW甲府店 055-228-2911 都留市 ● 都留店 0554-46-1422
津久井郡 ● 新城山店 042-783-0611	小平市 ● 小平店 042-343-1422	富士吉田市 ● 富士吉田店 0555-30-0011
座間市 ● 座間店 046-298-1701	青梅市 ● NEW青梅デジ タル館 0428-32-1215 ● 青梅家電館 0428-31-0850	韭崎店 0551-30-0021
厚木市 ● NEW厚木店 046-296-6121	あきる野市 ● 秋川店 042-559-1400	
愛甲郡 ● 愛川店 046-284-1562		
伊勢原市 ● 伊勢原店 0463-91-1214		
秦野市 ● 秦野店 0463-83-1214		
川崎市 ● 東名川崎店 044-871-8371		
● 溝の口店 044-822-2525		
● ComDock 溝の口店 044-812-2404		
横浜市 ● NEW青葉台店 045-962-4886		
● 横浜四季の森店 045-958-1561		
藤沢市 ● 藤沢店 0466-31-6377		
● 湘南台店 0466-46-7822		
茅ヶ崎市 ● 茅ヶ崎店 0467-54-0880		
綾瀬市 ● 綾瀬店 0467-79-5279		
小田原市 ● 鴨宮 家電館 0465-49-1230		
● 鴨宮店 0465-45-2345		
足柄上郡 ● 大井松田店 0465-82-8168		
足柄下郡 ● 湯河原店 0465-64-1688		
● ComDock 湯河原店 0465-64-1687		
鎌倉市 ● 鎌倉店 0467-42-1422		
東京都		
港区 ● 六本木店 03-5771-4738		
足立区 ● 北千住マライフ店(8F) 03-3888-7571		
中野区 ● 丸井中野本店(A館4F) 03-3229-2011		
江東区 ● 豊洲店 03-3533-9211		
町田市 ● 忠生店 042-792-3151		
● 多摩境店 042-700-0651		
● NEW鶴川店 042-737-6031		
東京都		
江東区 ● 東京イースト21 店 03-5634-7481		
足立区 ● 西新井トスカ店 03-5681-6001		
● エトセトラ綾瀬 店 03-5673-5231		
大田区 ● 大森プリモ店 03-5764-8241		
板橋区 ● ダイエー成増店 03-5967-0388		
● イトーヨーカドー 一上板橋店 03-5921-0921		
杉並区 ● 阿佐ヶ谷ダイヤ 街店 03-5364-1671		
西東京市 ● ひばりが丘バル コ店 0424-25-5030		
多摩市 ● グリナード永山 店 042-356-8761		
● 丘の上プラザ店 042-338-5901		
日野市 ● auショップ高幡 不動駅前店 042-599-7431		
八王子市 ● 京王八王子SC 店 0426-60-5023		
世田谷区 ● 成城学園前店 03-5429-0581		
● 北下沢駅前店 03-5779-3621		
新宿区 ● 高田馬場店 03-5292-0531		
東京都		
府中市 ● くるる府中店 042-358-2521		
埼玉県		
所沢市 ● 新所沢バルコ店 042-925-8714		
入間郡 ● ビバモール埼玉大井店 049-256-8811		
飯能市 ● 飯能サピア店 042-971-1441		
蕨市 ● イトーヨーカドー 錦町店 048-447-7735		
越谷市 ● 新越谷ヴァリエ店 048-986-0412		
桶川市 ● 桶川マイン店 048-789-0701		
加須市 ● 加須カタカラパーク店 0480-63-3211		
千葉県		
千葉市 ● プレナ幕張店 043-299-6100		
● 千葉オーロラモールジュンヌ店 043-301-9791		
船橋市 ● サミット馬込沢店 047-429-1408		
静岡県		
静岡市 ● 清水店 0543-44-6811		
東京都		
港区 ● でんわ館 六本木店 03-5771-4736		
小平市 ● でんわ館 小平店 042-343-5401		
府中市 ● でんわ館 府中店 042-358-5511		
東京都		
府中市 ● くるる府中店 042-358-2521		
埼玉県		
所沢市 ● 新所沢バルコ店 042-925-8714		
入間郡 ● ビバモール埼玉大井店 049-256-8811		
飯能市 ● 飯能サピア店 042-971-1441		
蕨市 ● イトーヨーカドー 錦町店 048-447-7735		
越谷市 ● 新越谷ヴァリエ店 048-986-0412		
桶川市 ● 桶川マイン店 048-789-0701		
加須市 ● 加須カタカラパーク店 0480-63-3211		
千葉県		
千葉市 ● プレナ幕張店 043-299-6100		
● 千葉オーロラモールジュンヌ店 043-301-9791		
船橋市 ● サミット馬込沢店 047-429-1408		
静岡県		
静岡市 ● 清水店 0543-44-6811		

### テレマックス営業店舗

神奈川県	東京都	東京都
相模原市 ● ミウヰ橋本店 042-700-7559	江東区 ● 東京イースト21 店 03-5634-7481	府中市 ● くるる府中店 042-358-2521
横浜市 ● ダイエー戸塚店 045-860-1333	足立区 ● 西新井トスカ店 03-5681-6001	
● モザイクモール港北店 045-914-2857	● エトセトラ綾瀬 店 03-5673-5231	
● ダイエー三ツ境店 045-360-6248	大田区 ● 大森プリモ店 03-5764-8241	
● ランドマークプラザ店 045-222-5200	板橋区 ● ダイエー成増店 03-5967-0388	
● イトーヨーカドー 上大岡店 045-840-0234	● イトーヨーカドー 一上板橋店 03-5921-0921	
● エスポート新横浜店 045-533-5281	杉並区 ● 阿佐ヶ谷ダイヤ 街店 03-5364-1671	
● 京急ストア鶴見東店 045-508-6181	西東京市 ● ひばりが丘バル コ店 0424-25-5030	
● スーパービバホーム長津田店 045-989-5188	多摩市 ● グリナード永山 店 042-356-8761	
● マルエツ溝の口店 044-822-9326	● 丘の上プラザ店 042-338-5901	
● アコルテ新百合ヶ丘店 044-955-6028	日野市 ● auショップ高幡 不動駅前店 042-599-7431	
平塚市 ● ラスカ平塚店 0463-20-2031	八王子市 ● 京王八王子SC 店 0426-60-5023	
小田原市 ● ダイナシティイーストモール店 0465-46-1151	世田谷区 ● 成城学園前店 03-5429-0581	
横須賀市 ● ショッパーズプラザ横須賀店 046-820-0168	● 北下沢駅前店 03-5779-3621	
逗子市 ● マルエツ東逗子店 046-870-6971	新宿区 ● 高田馬場店 03-5292-0531	

## ■ 株主メモ (平成17年11月30日現在)

決 算 期	毎年3月31日に決算を行います。
定 時 株 主 総 会	毎年6月に開催いたします。
基 準 日	3月31日
中間配当基準日	9月30日(中間配当を実施する場合)
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 / 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(お問い合わせ先)	〒171-8508 / 東京都豊島区西池袋1丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(0120)707-696(フリーダイヤル)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 掲 載	日本経済新聞 ※ 決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書の開示は、当社ホームページ (http://www.nojima.co.jp/ir)に掲載しております。

### 株主優待制度

株 主 優 待 券	3月31日及び9月30日現在で議決権を有する株主に対し、「株主優待券(10%割引)」を年2回贈呈
贈 呈 基 準	所有株式数100株以上500株未満保有の株主に対し、10,000円の優待割引券(1,000円券×10枚)を1冊、同500株以上2,000株未満保有の株主に対し、25,000円の優待割引券(1,000円券×25枚)を1冊、同2,000株以上保有の株主に対し、2冊(50,000円)をそれぞれ半期毎1回、贈呈する。
利 用 方 法	現金、デビットカード、ノジマカード、ノジマショッピングクレジットによる支払いの場合には優待割引券の使用により通常売価の10%が割引になる。またクレジットカードによる支払いの場合には優待割引券の使用により購入金額の8%が割引になる。
有 効 期 限	● 3月31日発行基準の優待割引券 / 翌年1月31日まで有効 ● 9月30日発行基準の優待割引券 / 翌年7月31日まで有効
取 扱 店 舗	● 株式会社ノジマの全店舗 ● 株式会社テレマックスの全店舗 ※ ノジマグループ各社の店舗のない地域にお住まいの株主で、ご優待割引券を使用して、当社のお取り扱い商品をお買い求めになりたい方は、アンケートハガキ、ファックスないしメール(info@nojima.co.jp)を使って、(株)ノジマ総務グループ宛に住所、氏名、電話番号、株主NO.と共に、商品名、メーカー名、型番名等をお知らせください。当社からご連絡させていただきます。